STEP 1 INput 基礎知識習得期

まずは、土台となる基礎知識を法律・制度の全体像を意識しながら学習し、その上で各科目・分野の重要事項を網羅していきます。万全の体制で試験に臨むためには、しっかりとした土台作りをすることが重要です。

STEP 2 OUTput 応用力養成期

インプットとアウトプットは、合格の両輪です。基礎知識習得期に学習した内容を問題演習でしっかり定着させることで、知識を得点できる力に変えます。基本的な問題から過去問まで幅広い問題に触れることで試験に対応できる応用力を身につけます。

STEP 3 OUTput 実践力養成期

学習の総仕上げ。本試験同様の模試でシミュレーションを行う中で、時間配分や解答順など自身の実力を発揮できる方法を探るとともに、弱点を炙り出し、本試験での死角をなくします。

合格講座 IN put

［全64回］2時間35分／回

- ●憲法・基礎法学 11回
- ●民法 20回（総則・物権 10回／債権・家族法 10回）
- ●行政法 22回（総論・手続法 9回／救済法・地方自治法 13回）
- ●商法・会社法 4回
- ●一般知識 7回

合格のために必要な知識を身につける!

始めて学習される方にも分かりやすいよう、体系的に構成されたテキストを使用して「合格のために必要な知識」を無理なく習得していきます。さらに、Web受講は「講師フレックス制（⇒P.45）」で自分に合った講師を選択し受講することができます。

⇒P.22

通信 通学

科目別答練 OUT put

［全7回］演習:1時間30分

※解説講義・成績処理（答案添削）は、付属しません。

- ●憲法・基礎法学 1回
- ●民法 2回
- ●行政法 2回
- ●商法・会社法 1回
- ●一般知識 1回

択一式演習で知識の理解度をチェック

1回30問、合計210問を各科目のインプット学習後に実施。合格講座で得た知識の理解度を確認しながら学習を進めていきます。

教材配布のみ

⇒P.27

自宅演習

全日本行政書士公開模試 OUT put

［全2回］

演習:3時間

解説:2時間30分

⇒P.36

通信 通学

ファイナル模試 OUT put

［全1回］

演習:3時間

解説:2時間30分

⇒P.36

通信 通学

2020年2月～ 2020年6～8月 11月